

市報 くまがや まがや

2
月号

No.29
2008
平成20年

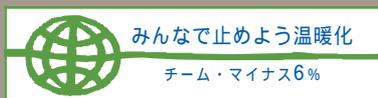
特集

- 彩夏到来 08 埼玉総体 P2
- 身近な環境の研究発表会 4
- 市政ワイド
さくらマラソン大会特別招待選手の紹介 7
ハートフルミーティング ほか
- 市政情報
市・県民税の申告および住民税の住宅借入金等 11
特別税額控除申告は3月17日(月)までに ほか
- くらしの情報 16
催し・講習・募集・試験・スポーツ・相談
- いきいき元気 みんなの健康 21
- 文化施設情報 24
- フォトニュース 28
- 市報クイズ・おたよりパレット
- くまがや東西南北 30
- 夢追い人・フレッシュクッキング 32



「第23回 関東学生グライダー競技会」

12月16日～22日に、妻沼グライダー滑空場を舞台に、9大学・14チームによる熱戦が繰り広げられました。



熊谷市ホームページ

熊谷市役所

検索

限界を超え 飛びたつ君よ 永遠の風になれ

スローガン「限界を超え—飛びたつ君よ—永遠の風になれ」
 高校生が日々の厳しい練習で鍛えた力の全てを出しきり、自分の限界を超え、埼玉の地で輝く未来に向かってはばたいて欲しい。そして、その懸命な姿、努力の軌跡、達成された数々の記録やいくつもの感動がさわやかな風となり、多くの人の心にいつまでも吹いて欲しいという気持ちを表したものです。
 受賞者 宮代町立百間中学校1年 内山 眞さん
 受賞者の学校名および学年は選考当時のものです。

熊谷市ではいつ開催されるの？

体操競技

開催期間 8月6日(水)~8日(金)
 開催場所 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム体育館



陸上競技

開催期間 7月29日(火)~8月2日(土)
 開催場所 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場




なお、インターハイの総合開会式は、7月28日(月)に「さいたまスーパーアリーナ」で行われます。

地元高校生たちの役割は？

インターハイの大きな特徴として、高校生一人一役活動があります。高校生が主体となり、積極的に大会の運営や準備を行うために県内16地区の代表生徒による「彩夏到来08埼玉総体高校生一人一役活動埼玉県実行委員会」が平成19年2月13日に設立されました。

この実行委員会では多くの方々から親しみをもたれ、取組みやすい活動とするため、この高校生一人一役活動に「Kizuna活動」という愛称を付けています。そして、全国から集う選手や大会関係者を温かく迎えるため、県内の高校生が協力して準備に取組んでいます。

平成20年のインターハイ開催に向けて、熊谷市と連携して活動する「北A地区実行委員会」に所属する学校は下表のとおりです。

北A地区実行委員会所属学校名(18校)

| | | |
|------------|-------------|-----------|
| 県立熊谷高校 | 県立熊谷工業高校 | 県立熊谷商業高校 |
| 県立熊谷女子高校 | 県立熊谷西高校 | 県立熊谷農業高校 |
| 県立妻沼高校 | 県立羽生高校(定時制) | 県立羽生実業高校 |
| 県立羽生第一高校 | 県立不動岡高校 | 県立不動岡誠和高校 |
| 県立進修館高校 | 県立行田養護学校 | 県立熊谷養護学校 |
| 県立羽生ふじ高等学園 | 熊谷理療技術高等盲学校 | 花咲徳栄高校 |



写真提供：佐賀市実行委員会

彩

インターハイって何なの？

インターハイは、全国高等学校総合体育大会のうちラグビーと駅伝を除いたものの通称です。昭和23年に全国高等学校体育連盟が発足して以来、全国各地でそれぞれ個別に開催されていた各競技種別大会を統合し、昭和38年から名称を「全国高等学校総合体育大会」として、夏季大会および冬季大会を開催することになったのが始まりです。全国高等学校総合体育大会は「高等学校教育の一環として高い戦いが繰り広げられています。」

在校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成することにも、高校生相互の親睦を図ることを目的として、毎年開催されている大会です。

夏季大会は「陸上競技」「体操競技」などの29競技、冬季大会は「ラグビー」「駅伝」などの4競技が開催され、高校スポーツ最大の祭典として、選手たちの熱い戦いが繰り広げられています。

彩夏到来 08 埼玉総体

高校総体インターハイが平成20年度に埼玉県で開催されます。県内各地で29競技が行われる中、熊谷市では2競技が開催されます。「陸上競技」は熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で7月29日(火)~8月2日(土)、「体操競技」は熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム体育館で8月6日(水)~8日(金)に開催されます。

この大会では、将来、オリンピックに出場するような選手のハイレベルな熱き戦いが繰り広げられます。「この高校生最大のスポーツイベントを、市民の皆さんで盛り上げていきましょう！」

高校総体推進室 岡内線550



写真提供：佐賀市実行委員会

2008

シンボルマーク

6本の放射物や曲線で高校生の溢れ出る情熱や躍動感を表現し、オレンジ色の曲線「S」で埼玉開催を表したものです。
 受賞者 県立大宮光陵高校1年 松本 啓範さん
 受賞者の学校名および学年は選考当時のものです。

埼玉県内全体で選手・監督が約3万3000人、大会役員や補助員が約2万8000人の合わせて約6万1000人の参加が見込まれています。また、選手たちを応援する観客も約60万人に上り、大勢の人々がインターハイを盛り上げることとなります。

なお、熊谷市で開催される、陸上競技には、約3,000人、体操競技には約1,500人の選手・監督が参加します。

大会愛称「彩夏到来08埼玉総体」です。高校生が様々な競技を通じて自らの才能を彩やかに開花させ、それぞれの夏に彩りを添えるとともに、色鮮やかに彩る花々で全国から来県するお客さんを迎えたいという気持ちを表したものです。

受賞者 県立熊谷農業高校2年 坂西愛さん
 受賞者の学校名および学年は選考当時のものです。

どのくらいの人に参加するの？

身近な環境の研究発表会

昨年11月から12月にかけて市内の3つの小学校で「身近な環境の研究発表会」が行われました。

これは、次代を担う子どもたちが、身近にある自然を調べることで、自然に親しみ、その大切さを知ってもらおうと熊谷市環境衛生協議会が市内の小学校に環境調査などを依頼しているものです。

今回は、妻沼、男沼、吉見の各小学校に取組んでいたいただき、児童たちの元気な発表に、会場に来

られた保護者や地域の皆さんは、うなずきながら熱心に耳を傾けて、大きな拍手で沸いていました。

また会場には、昔の地域の自然や生活風景の写真も多数展示され、子どもたちや会場を訪れた方々は、引き入れられたように見えました。

この会で発表された研究内容を抜粋してご紹介

環境衛生課 圃内線306

妻沼小学校

「再発見！」

「私たちの身近な自然」
「大切にしよう・妻沼の自然」

5年生を中心に、学校の中心の自然や妻沼地区の環境について、水、空気、昆虫、植物など、8つのテーマに分かれて調べ、自分たちの周りに広がる自然について再発見し、考えたことを発表しました。

🌍「空気・星を調べたよ！」

山の見え方から空気の汚れについて調べたり、妻沼で見える星の明るさを観察したりしました。学校から赤城山が



川・水についての発表の様子

見えますが、山がよく見える時は空気がきれいで星もよく見えるということが分かりました。

🌍「川・水のなごにせまろう！」

利根川や備前堀、学校の近くの川などで、水の臭いや生き物について調べました。微

生物なども調べましたが、利根川は思っていたよりもきれいでした。また、プールのなかで、ミズカマキリ、サカマキガイなどの生き物を発見しました。

🌍「土の中のひみつ！」

学校の土の中に生息する生き物や、臭いについて調べました。「どぶ木」の近くでは、ワラジ虫、ムカデを見つけました。また湿っている土の中には、ハネカクシという虫がいました。

🌍「鳥の鳴き声を調べたよ！」

鳥の鳴き声から種類を調べました。「チューチューチュー」と鳴く鳥は、ハクセキレイ



昆虫についての発表の様子

イヤムドリです。他にもヒヨドリ、カラス、スズメ、シラサギなどがあることが分かりました。ほとんどが妻沼で見られる鳥です。

🌍「学校の植物マップを作ったよ！」

学校にはどんな植物があるのか調べ、植物マップにしました。特に、学校のシンボル「どぶ木」はケヤキで、ニレ科に属するそうです。また、外来種であるセイタカアワダチソウについても調べました。

🌍「昆虫をたくさん見つけたよ！」

学校にはどんな昆虫がいるのか調べ、昆虫マップを作りました。その結果、1位はカミキリムシ、2位はアカアカネ、3位はオンパツタでした。その他にも、シヨウリヨ

ウバツタ、カマキリなど、たくさんの昆虫を発見しました。

🌍「比べてみよう！妻沼の今と昔」

妻沼地区の土地利用の移り変わりを現在と昔の地図を使って調べ、比較しました。特に妻沼東は、宅地利用が進み家がたくさん建てられるようになったことが分かりました。

🌍「ピオトープを作ったよ！」

生物の住みやすい環境を調べるために学校にピオトープを作りました。池は浅いところと深いところを作って掘り、水を入れました。オオカダモやアシ、ススキを植え、メダカやドジョウを放してみました。メダカも元気に泳いでいます。今後も観察を続けていきます。



ピオトープ作りの様子

男沼小学校

「大切にしよう、」

「男沼の自然と環境」
「見て、ふれて、伝えよう！」

大好きな男沼

地域や身近な環境について、生活科や総合的な学習の時間を中心に、学年ごとにテーマを決めて、調べたことを発表しました。

🌸「さばなを育てたよ！1年生」

アサガオと自分の好きな草花を選んで種をまき育てました。アサガオの先生として老人会の方をお招きし、水や肥料のやり方、つるのまき方などを教えていただきました。そして、老人会の方や家族を招待して「あさがお展」をしました。たくさんの方に見ていただき、楽しく交流できました。

また、つるでリースを作って飾りました。とれた種は、来年の1年生にプレゼントする予定です。

草花がとてもきれいに咲き、花を育てる喜びを感じる事ができました。

🌸「町たんけん」で見つけた

男沼の春・夏・秋(2年生)
みんなで「町たんけん」を



見つけたよ！天神様のアジサイ

しました。私たちの住むまち、男沼を探検して、たくさんの方の草花や生き物を見つけました。また、それらは、春・夏・秋で、様子が変わることわかりました。季節を通して、多くの自然に囲まれている男沼は、とてもすてきなところですよ。そして、自慢のまちは私たちが宝物。ずっと大切にしていこうと思えました。

🌸「めざせ！男沼の野菜博士」

一人ひとりが自分で育てたい野菜を決めて、インターネットを使ったり本で調べたりしながら育てました。育てながらわからないことが出てきたので、農家の方にきていただき、ブ口の技や知識を学習



利根川の水質調査

しました。野菜作りを通して、農家の方の苦労やおいしい野菜が実ったときの喜びを感じる事ができました。また、台風の影響によって、トウモロコシの大部分が倒れてしまいました。野菜を育てることの難しさや大自然の厳しさを体験することもできました。

🌸「それいけ！環境探検隊4年生」

利根川や用水路の水、周辺の環境について調べました。水の汚れの原因のほとんどが生活排水だとわかりました。また、利根川の土手に落ちていたごみの多さや、学校や家庭からたくさんのごみが出されていることも知りました。

身近な水環境や自然環境を守るため、私たちの日常生活で気をつけなければならぬことを調べたり考えたりしました。男沼の自然を守るため

に、ゴミ捨てをしない・ごみを資源として使う・米のとぎ汁は草花にやるなど、自分でできることは行っていく必要があります。

🌸「私たちの利根川(5年生)」

日本一の流域面積をほこり、私たちのすぐ近くを流れる「利根川」を、今、問題となっている環境問題の入り口として調べ、学習を進めてきました。

利根川に生息している生き物・水害・ごみ問題、そして、利根川の水の利用にテーマを分けて、取組んできました。美しい利根川を守るために、ごみをなくし、自分でできることをしていくことが大切であることを学びました。

🌸「大好き！「妻沼」」

キッズISOの実践から(6年生)

妻沼地区内の建造物や歴史上の人物について、興味を持ったことを調べました。それをキッズISOにまとめました。妻沼にも良いところがたくさんあることを知り、私たちは、その良さを受け継いでいくのが、我々であるという意識を強く持つことができました。



研究成果のパネル展示

吉見小学校

「自然に親しみ、働きかける児童の育成」
〜吉見っ子里地里山宝物〜

生活科・総合的な学習の時間・理科・社会科を通じて、身近な環境について働きかけてきた成果を学年ごとに発表しました。

生き物とお友だち・遊びにいらおう秋(1年生)

生活科で、アサガオを育て、汁遊びや押し花などをして楽しく遊び、種取りまでできました。また、地域の公園でドングリやマツボックリを拾い、こま・けん玉・どんぐり迷路などをみんなで楽しく作りました。

生き物となかよし・野菜を育てよう(2年生)



縦割り栽培の様子

生活科で、ザリガニや昆虫を教室で育てることで、自然への関心が高まりました。また、サツマイモ・ミニトマト・ナス・キュウリ・落花生などを学年園で栽培し、収穫後はおいしくいただき、自然の恵みに感謝しました。

田畑からのおくりもの・昆虫を調べよう(3年生)

近所の農家を訪問したり、直売所に行ったりして野菜について取材ができました。取材からわかったことをまとめました。

理科では、地域の自然の中で、たくさん昆虫と触れ合いながら体のつくりを観察し、まとめました。

水はどこから・里地里山の秘密を探ろう(4年生)

社会科で、水はどこからという学習をして、水について調べました。水の大切さが実感できました。

日本人の主食・米の秘密を探ろう(5年生)

米の秘密について調べました。田に住む生き物や、わらの有効な利用法、米の害虫対策など、パソコンを使って見



樹木の名前調査

やすくまとめました。また、農薬について考えた寸劇をして、全校児童にわかりやすい発表ができました。

私たちの健康と環境問題・キッズISOプログラム(6年生)

環境問題について調べました。また、キッズISOに取り組み、各家庭の電気・ガス・水道・ごみの量を継続調査し、省エネルギーのために、家庭でできることを考え、実践しました。



市長による感謝状の贈呈

牛乳パック回収(給食委員会) 本校では、給食の牛乳パックの回収に加え、毎月第1・3水曜日に各家庭から持ち寄った牛乳パックの回収もしています。今まで回収した牛乳パックがどれくらい環境保護に役立ったか調べて、まとめました。

樹木のネームプレート作成・腐葉土づくり(飼育栽培委員会)

県立川の博物館の寺尾先生をお招きして、校内の樹木の名前を調べました。ネームプレートを作って、全校児童に紹介しました。

学年園の肥料のために、腐葉土づくりに挑戦しました。春には、学年園にまけると思っています。

縦割り栽培(代表委員会)

(財)花と緑の農芸財団から、花の苗をいただき、縦割りグループで育てました。ペットボトルを鉢皿として、再利用しました。色とりどりのきれいな花を咲かせることができました。

PTAの活動

年3回の資源回収・各字ごとの美化活動・わが家の環境宣言などの実践を通じて、身近な環境について積極的に働きかけました。



給食委員会の取組み

21世紀は、今まで以上に環境が大切にされる時代でなければなりません。私たちは、長年にわたり、水や空気など自然からの恵みを当たり前のようにつけてきました。しかし、それらを使っただけでそのまま、吐き出してきたことにより環境破壊が生じました。

そして、私たちは便利で快適な日常生活を手に入れるために、足元にある地球に大きなダメージを与えてきました。

これからは、地球そのものが一つの命あるものと考えて一人ひとりが、環境にやさしい生活を心がけていかなければなりません。

ふるさとの川や森が、美しくあることが本当の豊かさではないでしょうか。

この発表会を通して、次の時代を担う子どもたちが、自らの研究成果の中から、今の環境を知り、地域の方々のふれあいの中から、昔のふるさとのことを知ることに、身近な環境に対する気遣いや思いやりを学ぶことができただけではないでしょうか。

ご協力をいただきました学校や地域の皆さんにお礼を申し上げます。